

令和元年度
事業報告附属明細書



公益財団法人 生長の家社会事業団
児童養護施設 生長の家神の国寮

令和元年度 児童養護施設 生長の家神の国寮 事業報告

概要

1、【令和元年度を振り返って】

「平成から令和へ」一御代わりの本年度は、双子ホーム建設を軸にした「新体制」構築に向けた計画構想の実現に向けたスタートの年だった。

双子ホームは、第1棟目が工事を開始し令和2年8月には完成する。更に、令和3年度初頭には2棟目が完成予定。これによって、令和3年度から「双子ホームの運用開始、本体施設定員30名、地域小規模児童養護施設定員18名、看護師・医療的ケア職員の新規配置」という「新体制」が実現する予定である。

重点対策の1点目である「育てる人を育てる」一人財の「確保」「育成」「定着」については、新任・チューター研修、ホーム長研修、全職員対象の「目標管理シート」の記入による上司面談等、段階的な人材育成に関するアプローチを進めることができた。一方、新任職員2名の退職もあり、職員の「定着」に向けた課題が浮き彫りになった。

2点目の「子どもへの生活支援の質の向上のための「働き方改革」」では、公休の増加、全職員の有給5日以上取得、8割の職員のリフレッシュ休暇の取得は実現した。一方、課題を抱える子どもの対応に疲弊した職員の離職が、現場ホーム職員の負担感や不安感を増幅させたことは否めない。現場職員の頑張りや役割者並びに専門職の介入により、混乱の鎮静化は図られたが、適切な職員配置と役割者並びに専門職の重層的な関わりに加え、職員の心身共に健康的な勤怠管理を実施・実現することが課題解決の糸口と言える。

3点目の「施設の「高機能化」「多様化」」については、「課題を抱えた児童」へのチームアプローチの重要性が浮き彫りになった。これまで、当施設では家庭的養護養育の観点から「小規模施設運営」が成されて久しく、居住空間等のハード面と、児童構成や個の職員との愛着形成(所謂ソフト面での働きかけ)により、児童の課題に対応してきた。その良さを生かしながら、今後さらに、現場のケアワーカーと専門職・小児精神科医との協働を深化させていくことが重要である。その意味で、「Drケースカンファレンス」が準備され、令和2年度より機能することが期待される。多機能化については様々な事業展開を踏まえた上での職員採用・職員数の確保と、職員の資質・能力向上を念頭に置いた職員評価システムの採用が求められている。

2、【各ホームの配置】

< 本体施設 >

ひだまり
枇杷の家
太陽の家
みつばちの家

< グループホーム >

プラムフィールド
櫛の家
さくらんぼの家
ひまわりの家

3、【その他専門職の配置】

当施設の処遇部門には主に生活支援型援助を行うケアワーカーと、主に問題解決型援助を担うその他専門職の二職種がある。

基幹的職員

自立支援コーディネーター
家庭支援専門相談員
里親支援専門相談員
職業指導員

グループホーム支援員

個別対応職員
管理栄養士
心理職

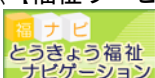
4、【地域支援事業、他】

ショートステイ事業
こすもす(子育て広場)

5、【東京都福祉保健局の現地検査の報告】

・令和元年12月11日付け東京都福祉保健局長発通知:

6、【福祉サービス第三者評価結果の報告】



措置児童の入所状況について

1 各月入所児童数及び在籍児童状況(各月1日現在)

[施設全体]

月	性別	幼児		小学生		中学生		高校生		その他		計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
4月	男	4	6	8	17	5	9	7	14	2	4	26	50
	女	2		9		4		7		2		24	
5月	男	4	6	8	17	5	9	7	14	2	4	26	50
	女	2		9		4		7		2		24	
6月	男	4	6	8	17	5	9	7	14	2	4	26	50
	女	2		9		4		7		2		24	
7月	男	4	6	8	17	6	10	7	13	2	4	27	50
	女	2		9		4		6		2		23	
8月	男	4	6	8	17	6	10	7	13	2	2	27	48
	女	2		9		4		6		0		21	
9月	男	4	6	8	17	6	10	7	12	2	2	27	47
	女	2		9		4		5		0		20	
10月	男	4	6	8	17	6	10	7	12	2	2	27	47
	女	2		9		4		5		0		20	
11月	男	4	6	8	16	6	10	7	13	2	2	27	47
	女	2		8		4		6		0		20	
12月	男	4	6	8	16	6	10	7	13	2	2	27	47
	女	2		8		4		6		0		20	
1月	男	4	6	8	16	6	10	7	13	2	2	27	47
	女	2		8		4		6		0		20	
2月	男	4	6	8	16	6	10	7	13	2	2	27	47
	女	2		8		4		6		0		20	
3月	男	4	7	8	16	6	11	7	13	1	2	26	48
	女	3		8		5		6				22	

施設運営管理について

職員構成

令和元年10月1日現在

	正副施設長	ケアワーカー	心理	事務	その他専門職	地域・ショート	調理員(非)	その他非常勤	嘱託医	SV	計
男	3	13	1	2	6	1		3		1	30
女		11	3	1	4	2	3	12	1	1	38
計	3	24	4	3	10	3	3	15	1	2	68

建物諸設備の管理 修繕等

7月25日～27日	本体施設西側植栽(畑新設)の工事
10月15日～12月7日	本体施設ひだまりホームの内装工事
12月4日～6日	非常用発電機設置に伴う工事

災害対策の実施状況

1 避難訓練

	想定	訓練内容
4月18日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
4月26日	地震火災	総合自主避難訓練(GHさくらんぼの家)
5月29日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
6月12日	地震火災	総合自主避難訓練(GHひまわりの家)
6月29日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
7月24日	地震火災	総合自主避難訓練(GH樺の家)
7月29日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
8月19日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
9月25日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
10月23日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
11月27日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
12月25日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
1月15日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
2月19日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
3月18日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)

- 2 9月26日 消化器具・自動火災報知設備・誘導灯及び誘導標識
9月26日 消防機関へ通報する火災報知設備

3 防火・防災・児童の安全に関する掲示及びお知らせ、取り組み等

4月25日	修繕箇所の確認、屋上備品倉庫の設置案について(運営会議にて)
5月30日	修繕箇所の確認、避難訓練報告(運営会議にて)
6月24日	災害用掲示板の確認(記録システム掲示板にて)
6月27日	修繕箇所の確認、避難訓練報告(運営会議にて)
7月30日	修繕箇所の確認、避難訓練報告(運営会議にて)
9月26日	修繕箇所の確認、避難訓練報告(運営会議にて)
10月25日	修繕箇所の確認、避難訓練報告(運営会議にて)
12月2日	修繕箇所の確認、避難訓練報告(運営会議にて)



31福保指二第760号
令和元年12月11日

公益財団法人
生長の家社会事業団理事長 殿

東京都福祉保健局長
内 藤 淳



実地検査の結果について（通知）

令和元年9月4日付31福保指二第450号により実施した下記の実地検査においては、文書により指摘する事項は認められませんでした。

なお、検査当日、口頭により指導した事項については、速やかに改善を図ってください。

記

- 1 検査対象
児童養護施設 生長の家神の国寮
- 2 検査実施日
令和元年10月2日（水曜日）

問合せ先

東京都福祉保健局 指導監査部 指導第二課 施設検査担当

担 当 中村,五代,米川 電話 03-5320-4057

受付時間 月曜日から金曜日まで

午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時45分まで

（12月29日から1月3日まで及び祝日を除く。）



子どもは神が育て給う